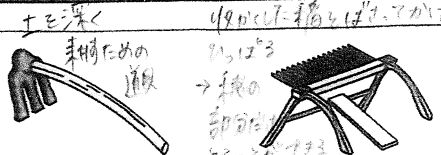


11. 経済の成長と幕政の改革(1)

産業の発達	農業	①新田 開発…耕地面積の増加 - 農具の進歩…農作業の能率や生産力が向上 - 肥料の進歩…②干鰯(いわしが原料)や油粕が利用される	
	鉱業	金山、銀山、銅山の開発→金座や⑤銀座などでつくった貨幣が全国に流通	
	水産業	⑥いわし 漁(九十九里浜)、かつお・くじら漁(土佐・紀伊など)、鮭・にしん漁(蝦夷地)	
	商業	⑦株仲間…問屋・仲買などの同業者組織	⑧両替商…金・銀・銭などの貨幣を交換
都市と交通	⑨京都	- 伝統的な文化の中心地 - 西陣織など、高度な手工業が発達	⑮西まわり 航路
	⑩大阪	- 商業の中心地 - 各藩の⑪蔵屋敷に年貢米・特産品が集まる →「⑫天下の台所」	⑬江戸 ・人口約100万人 ・政治の中心地 ⑭将軍のおひざもと

▼綱吉と白石の政治

5代将軍⑩徳川綱吉の政治…⑬生類憐みの令、質の悪い貨幣の発行 - 儒学者⑭新井白石の政治…貨幣の質をもとに戻す。長崎貿易の制限
--

▼⑭元禄文化…上方中心の、町人たちを担い手とする文化

浮世草子	⑮井原西鶴が『日本永代蔵』などで町人の生活を描く
人形浄瑠璃	⑯近松門左衛門が『曾根崎心中』などの脚本を書く
歌舞伎	踊りから物語に重きをおく演劇に成長
⑰俳諧(俳句)	⑱の芸術性を高めた⑲松尾芭蕉が『おくのほそ道』を書く
装飾画	⑳俵屋宗達に次いで㉑尾形光琳が屏風やまき絵に装飾画を描く
㉒浮世絵	菱川師宣が町人の風俗を美しく描く。木版画で刷られ、民衆の人気を集める

産業の発達に関して +a

○「農業全書」などの技術書

(宮崎安貞)

○商品作物の栽培(綿、紅花など)